

G I S を活用した防災まちづくり整備手法 検討調査報告書

平成 1 7 年 3 月

(財) 国土技術研究センター

GISを活用した防災まちづくり整備手法検討調査報告書

目 次

第1章	調査の目的等	1
第2章	先進地区における事例の収集・整理	2
2-1	地方公共団体におけるGISの統合的な活用の事例（豊中市の例）	2
2-2	防災まちづくりにおけるGIS活用の事例	15
2-3	防災まちづくり支援システムの活用状況	24
第3章	GISの活用における課題の整理とその解決手法の検討	58
3-1	モデル検討の実施	58
3-2	意見交換会の設立・開催	85
3-3	GIS活用における課題と解決手法の検討	95
第4章	GISを活用した防災まちづくり整備手法の検討	101
4-1	防災まちづくりのプロセスと課題	101
4-2	防災まちづくりの各段階におけるGISの活用手法	106
第5章	今後の課題	110

《巻末資料》

□	寝屋川市池田旭町地区におけるワークショップの様子とシミュレーションの概要	111
---	--------------------------------------	-----

第1章 調査の目的等

1 調査の目的

防災上危険な密集市街地は全国でまだおよそ 25,000ha 存在しているところであるが、平成 13 年 12 月の都市再生プロジェクト（第三次決定）において、今後 10 年間で最低限の安全性を確保することとされた。都市内の低未利用地を活用しながら密集市街地の整備を一層促進していくためには、住民が主体となって合意を形成し、行政と相互に連携を図りながら取り組むことが求められてくる。このため、密集市街地整備の第一線で住民と直接に相對する地方公共団体が、住民の防災意識の高揚、住民間の合意形成の促進等を進められるような手法を確立する必要がある。

そこで本調査においては、都市の現況を正確に捉え、地域の実状に応じた都市防災対策を推進するために、GIS を活用して視覚的に災害危険性や整備改善の必要性・効果を提示し、防災まちづくりを円滑に進める手法について検討することをもって、既成市街地における土地の有効活用に資することを目的とするものである。

2 調査内容

本調査の内容は以下の通りである。

(1) 先進地区における事例の収集・整理

GIS を活用した防災まちづくりの整備の先進的取り組みについて、事例の収集、整理を行った。

(2) GIS の活用における課題の整理とその解決手法の検討

モデル検討と意見交換会の開催により、先進地区における GIS 活用にあたっての問題点を整理し、その解決手法についての検討を行った。

(3) GIS を活用した防災まちづくり整備手法の検討

上記の調査結果をもとに、防災まちづくりのプロセスに沿った GIS の活用手法を検討し、GIS の活用による効率的な防災まちづくりの整備手法について考察した。

(4) 今後の課題

GIS を活用した防災まちづくりの推進に向けて、取り組みが期待される課題について整理した。

なお、本調査における事例収集・分析、検討等の作業は、(株) マヌ都市建築研究所の協力を得て行った。